

## 【教育目標】 心豊かな子どもの育成

- ◆ 思いやりのある子ども ◆ 本気で学ぶ子ども ◆ たくましい子ども



## もうすぐ運動会！



今週の土曜日は、いよいよ「岩江小学校・岩江地区大運動会」です。練習もいよいよ追い込みに入ってきました。新年度が始まり、一ヶ月が過ぎましたが、子どもたちは、新しい環境にも少しずつ慣れ、学習に運動に力を発揮しています。当日は、子どもたちが元気いっぱい青空の下でキラキラと輝いてくれることを願っています。

### 【運動会テーマ】

つらさをのりきり勝利の道へ

～あきらめずに全力でゴールテープをめざそう～



高学年児童で組織する「運動会組織実行委員会」が全校生からテーマを募集し、委員会で話し合った結果、上記のテーマが決定しました。児童が積極的に学校行事に関わり、全校一丸となって運動会に取り組む岩江小学校自慢の実行委員会です。当日は、演技はもちろん、各係で活躍する高学年児童の姿もどうぞご覧ください。

## お知らせ

4月15日（金）の授業参観「PTA全体会」の折に、今年度の運動会について、新たな取り組みと変更点についてお話ししましたが、ご理解ご協力をお願いします。

- 1 昨年度「岩江小・中学校学校運営協議会」で話題に上がりました「三春盆踊り」について、今年度新たな取り組みとして、午前の部終了後に、参加者全員で踊ります。子どもたち、ご家族や地域のみなさんで校庭に大きな輪を作りましょう。
- 2 昨年度まで、1年生は午後の部に参加しませんでしたでしたが、今年度から次の理由により、午後の部（閉会式）まで参加いたします。

- ① 昼食後の1年生の安全面を考慮する。
- ② 閉会式まで参加させることにより、運動会への参加意識の高揚を図る。
- ③ 上学年の種目（リレー、鼓笛等）を応援することにより、上学年へのあこがれを持たせる。

## レジリエンス！

この夏は、日本の裏側、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催されます。少々古い話題になりますが、2年前のソチ冬季オリンピックで最も印象深かった競技とはと問われると、浅田真央選手のフィギュアスケート競技をあげる方がたくさんいるのではないのでしょうか。それはなぜでしょう。前日のショートプログラムでまさかの順位となりましたが、それを跳ね返すフリー演技を行ったからではないかと思えます。逆境からはいあがった浅田選手に、メダルという価値を超越した喜びがわき上がったのです。フリーが終わった瞬間の浅田選手の天を見上げ、涙ぐみながらもやり遂げた笑顔に、私もこみあげてくるものを感じたのを今でも覚えています。

こうした困難に打ち勝つ力、困難から立ち上がる力を『レジリエンス(Resilience)』というそうです。いわゆる“回復力”のことです。堅い話になりますが、材料工学において、“弾性”という性質があり、弾性の限界を超えると元には戻りませんが、その限界点までなら元に戻る性質があり、この限界点が高いと、より強い素材となるのだそうです。

しかし、人間の場合はそう簡単なことではありません。特に昨今の子どもや若者には“しなやかさ”が足りないと言われます。逆境や困難に対して、克服しようとする意欲が乏しくて、かたくなに対応することしかできず、すぐに破断してしまうことも多くあります。とはいえ、逆境を克服するにはパワーが必要であり、打たれ強さを求めて「がんばれ！がんばれ！」だけでも酷だともいえます。この“しなやかさ”や“くじけない心”“折れない心”をもつことは、これからの社会で生きていくために必要な大切な資質ではないのでしょうか。

運動会まで1週間を切りました。運動会を楽しみにしているお子さんもいれば、運動が苦手で気が重いお子さんがいるのも事実です。しかし、運動が苦手なお子さんもそこから逃げずに健気に一生懸命練習に取り組んでいます。

今年の運動会のテーマの中に「つらさ・・・」「あきらめずに・・・」という文言が含まれています。運動会という行事を通して、一人一人がそれぞれの高さのハードルを乗り越えてくれることを願います。

いきいき わくわく えがおいっぱい 岩江小学校